

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 特定非営利活動法人 福祉活動と福祉教育の推進協会 あすなろ
 訓練実施施設名: NPO法人あすなろ ふくしの学校 堺東駅前教室
 問合せ先住所: 〒 5 9 0 0 - 0 0 0 7 6
 大阪府堺市堺区北瓦町2-3-6 堺東北條ビル5階 事務所
 問合せ電話番号: 072-225-1860

■土日祝日訓練の有無: 全日あり / 一部あり / なし
 ■法定講習に係る補講: あり / なし / 有料 / 無料
 ■相モデルによる訓練: あり / なし
 ■合同開催による訓練: あり / なし

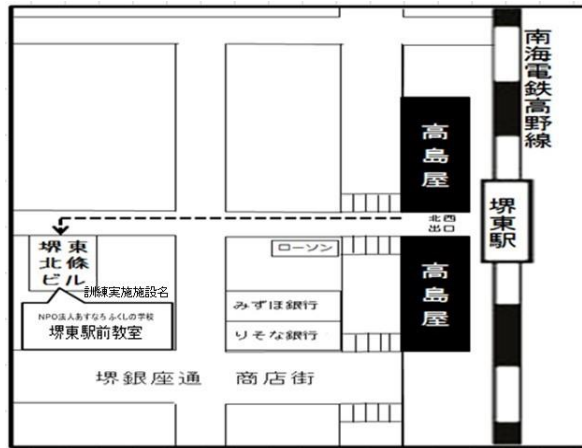
訓練の種別	実践コース (05 介護・医療・福祉分野)			就職を想定する職業・職種
	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービス支援付訓練コース	短時間訓練コース	
訓練科名	初任者研修・介護事務・ガイドヘルパー養成科			高齢者施設・高齢者在宅支援事業所の介護職員、障がい者施設・障がい者在宅支援職員、就労支援事業所の支援職員、福祉施設・福祉事業所の事務職員
募集期間(予定)	令和6年5月2日 ~ 令和6年5月23日			
選考日(予定)	令和6年5月31日			
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接	<input type="checkbox"/> 筆記試験	<input type="checkbox"/> その他 ()	
選考結果通知日	令和6年6月7日			
訓練期間	令和6年6月25日 ~ 令和6年9月24日 (3 か月)			(訓練日数 53 日)
訓練時間	9 時 45 分 ~ 16 時 25 分		訓練定員	15 名
訓練対象者の条件	特になし			
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者	<input type="checkbox"/> ニート等の若者	<input type="checkbox"/> 障害者	<input type="checkbox"/> 母子家庭の母等
	<input type="checkbox"/> 被災者	<input type="checkbox"/> 外国人	<input type="checkbox"/> その他 ()	
訓練目標 (仕上がり像)	高齢者介護・障がい者支援に関する知識と技術を学び介護保険制度と介護報酬請求事務を習得することにより、高齢者介護職・障がい者支援職・福祉事務職など幅の広い就職選択を可能にし、企業実習や職場見学などを通して受講生自身の強みが活かせ、福祉業界での継続した就労ができることを目標とします。			
訓練修了後に取得できる資格	名称 (介護職員初任者研修) 認定機関 (特定非営利活動法人 福祉活動と福祉教育の推進協会 あすなろ)		<input type="checkbox"/> 任意受験	
	名称 (移動支援従業者(ガイドヘルパー)養成研修 全身性障がい課程) 認定機関 (特定非営利活動法人 福祉活動と福祉教育の推進協会 あすなろ)		<input type="checkbox"/> 任意受験	
	名称 (介護事務管理士®) 認定機関 (JSMA技能認定振興協会)		<input checked="" type="checkbox"/> 任意受験	
	名称 () 認定機関 ()		<input type="checkbox"/> 任意受験	
	名称 () 認定機関 ()		<input type="checkbox"/> 任意受験	

- ① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)
- ② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)
- ③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)

訓練概要	高齢者施設・在宅支援事業所で高齢者に適切な介護の提供ができ、また障がい者施設・在宅支援事業所で障がい者への支援ができ、さらに福祉施設での費用を請求する介護報酬請求事務ができるように知識や技術を習得することができる。また、企業実習・職場見学などを通して自分の強みが活かせる職場を選択できる就職支援をする。(日によって訓練時間が異なる場合があります。)				
	科目	科目の内容	訓練時間		
学 科	開講式等	開講式(オリエンテーション)(2H)、修了式(2H)			
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則、福祉現場における安全衛生および腰痛予防	3時間		
	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	9時間		
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護、人権啓発に関する基礎知識	12時間		
	介護の基本	介護の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	9時間		
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、障害者自立支援制度及びその他制度、医療との連携とリハビリテーション	12時間		
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームコミュニケーション	9時間		
	老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者と健康	9時間		
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への支援	9時間		
	障がいの理解	障がいの基礎的理解、障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかり支援の基礎的理解、家族の心理、かかり支援の理解	6時間		
	こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方、介護に関する心のしくみの基礎的理解、介護に関するからだのしくみの基礎的理解	24時間		
	振り返り	振り返り、就業への備えと研修修了後における実例	6時間		
	修了評価	修了評価	2時間		
	全身性ガイドヘルパー知識	障がい者の人権、障がい者(児)福祉制度と移動支援事業、移動支援従業者の業務、移動支援従業者の職業倫理、障がいの理解、障がい者(児)の心理、移動介助の基礎知識	15時間		
	介護事務	介護保険制度のしくみ、介護報酬の算定、介護従事者の基本知識	48時間		
	アンガーマネジメントの理解	怒りが生まれるメカニズム、問題となる怒りの特性、アンガーマネジメントの3つのコントロール(衝動のコントロール、思考のコントロール、行動のコントロール)	3時間		
	就職支援	職務経歴書・履歴書の作成指導、面接指導	18時間		
実 技	こころとからだのしくみと生活支援技術演習	こころとからだのしくみと自立に向けた介護(整容・移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、睡眠)、終末期医療、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習	66時間		
	全身性ガイドヘルパー演習	移動介助の基本技術(抱きかかえ方及び移乗の方法、生活行為の介助、介助に関わる車いすの理解)、交通機関利用の介助演習	11時間		
	介護事務演習	レセプトの書き方、請求書類の書き方	18時間		
企業実習	<input type="checkbox"/> 実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 実施する	12時間			
職場見学、職場体験、職業人講話	【職場見学】	生活支援に関する福祉用具の種類と活用方法についての見学		2時間	
訓練時間総合計	303時間	学科 194時間	実技 95時間	企業実習 12時間	職場見学等 2時間
受講者の負担する費用	教科書代	0円			
	その他 (交通機関利用演習に係る交通費)	580円			
	備考 (職場見学、企業実習の交通費及び法定講習欠席に係る補講料は実費)				
訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する				
	<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)	<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	オンライン計	時間	
施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	現場で指導にあつている講師が講義をするので日々変化する現場の情報を得ることができる。また、企業実習にて現場研修することにより、介護業界の実践を実習することができ、自分の就職の方向性も明確にすることができる。				
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	介護における総合知識や介護における総合実技演習において、全体的な科目内容を概観することにより、各受講生が苦手としている箇所を習得することができる。				

訓練実施施設所在地地図

訓練実施施設住所: 〒 590-0076 大阪府堺市堺区北瓦町2-3-6 堺東北條ビル5階 B教室



訓練カリキュラム(企業実習用)

		科目	科目の内容	訓練時間
訓練内容	実技	ところとからだのしくみと生活支援技術 生活サイクルの確認、利用者の生活支援(移動・移乗、食事、清潔保持、排泄、睡眠、整容)	生活サイクルの確認、利用者の生活支援(移動・移乗、食事、清潔保持、排泄、睡眠、整容)	11時間
	その他	安全衛生	衛生管理項目の確認、救急装置の設置場所確認、うがい・手洗いの徹底、衛生用具の使用、安全姿勢	1時間